

平成 19 年 10 月 5 日
独立行政法人国立病院機構

国立病院機構における未収金債権の残高

(単位:千円)

調査時期	病院数 ①	未収金債権		(参考) 1病院当たりの 未収金債権額 ②/①	
		②	破産更生債権		医業未収金
平成18年7月末現在 (A)	146病院	4,517,970	2,833,086	1,684,884	30,945
平成19年7月末現在 (B)	146病院	4,103,385	2,652,031	1,451,354	28,105
差引 (B) - (A)	—	▲ 414,585	▲ 181,055	▲ 233,530	▲ 2,840



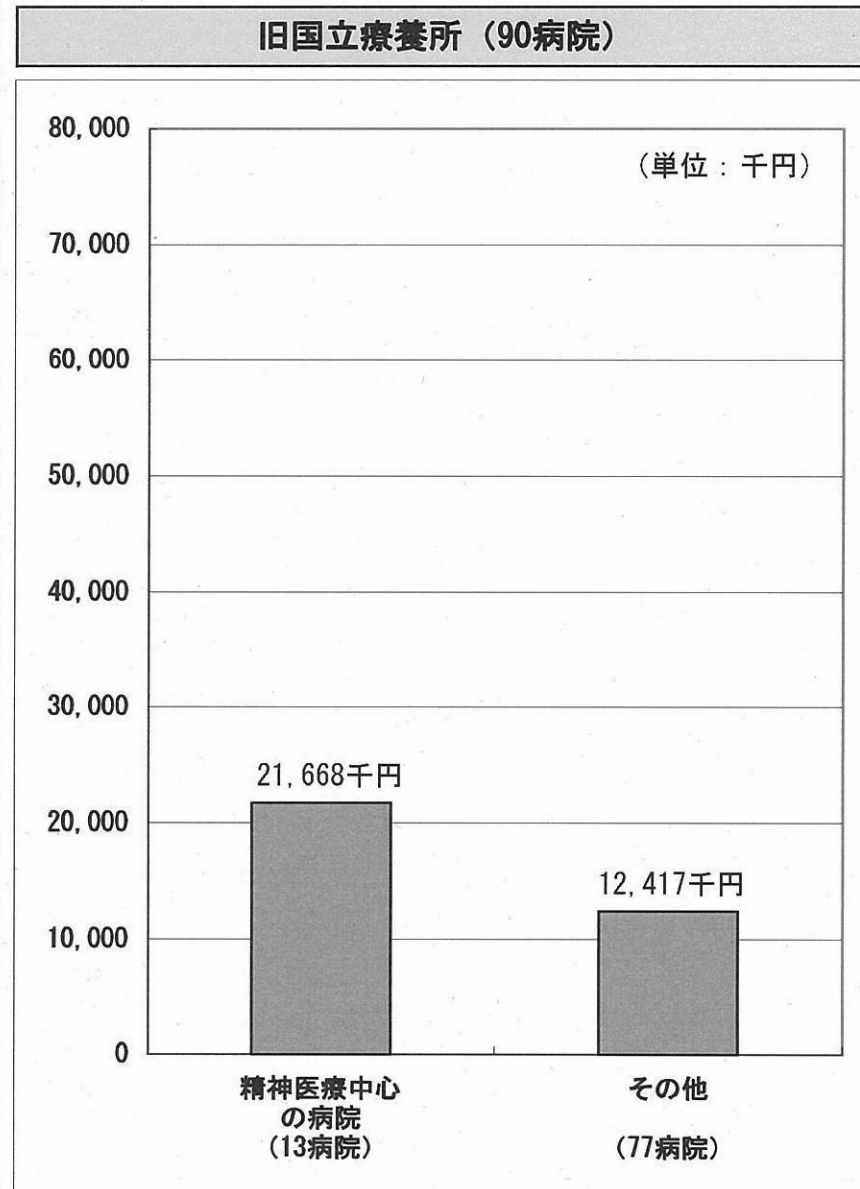
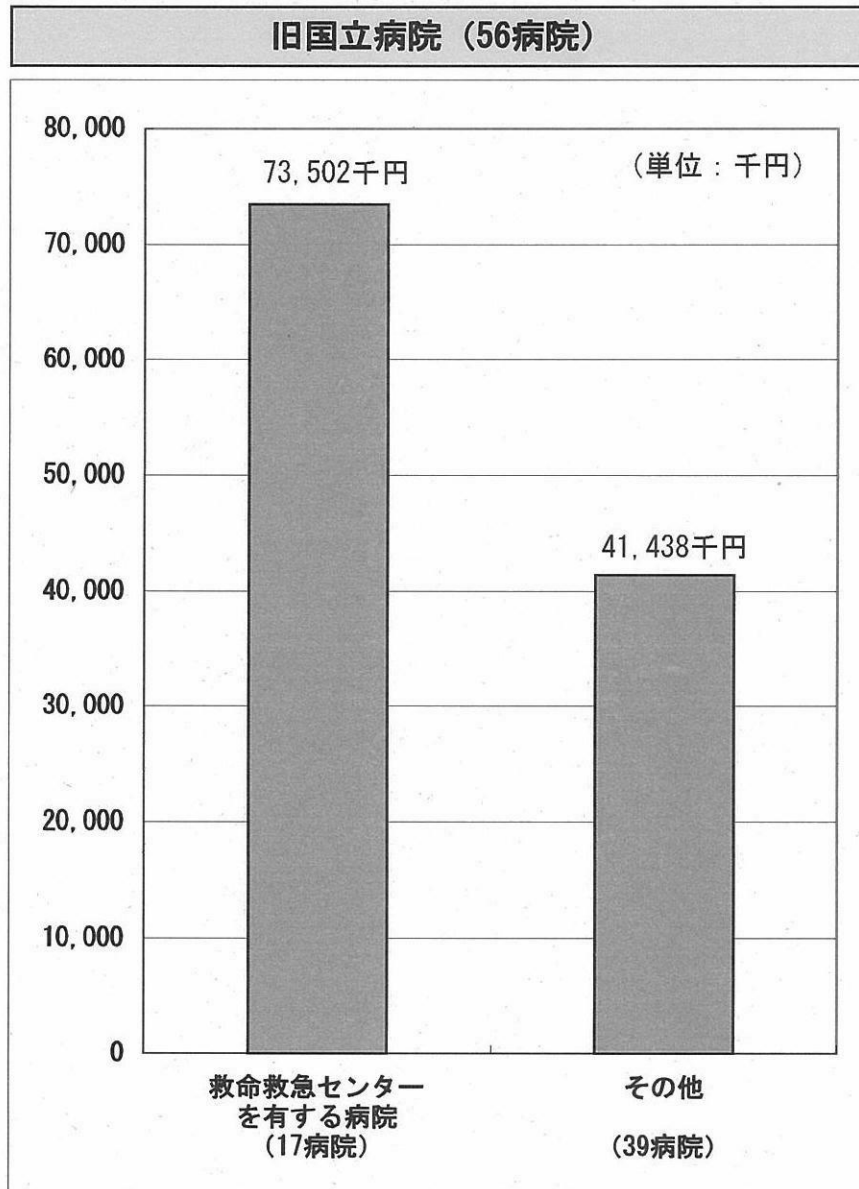
未収金債権の内訳については、保険未加入、診療上等のトラブル、生活困窮及び住所不定などの理由により、回収が見込めないものとして、各病院から報告を頂いたものである。

※ 平成18年7月末 未収金債権額 約4,518百万円

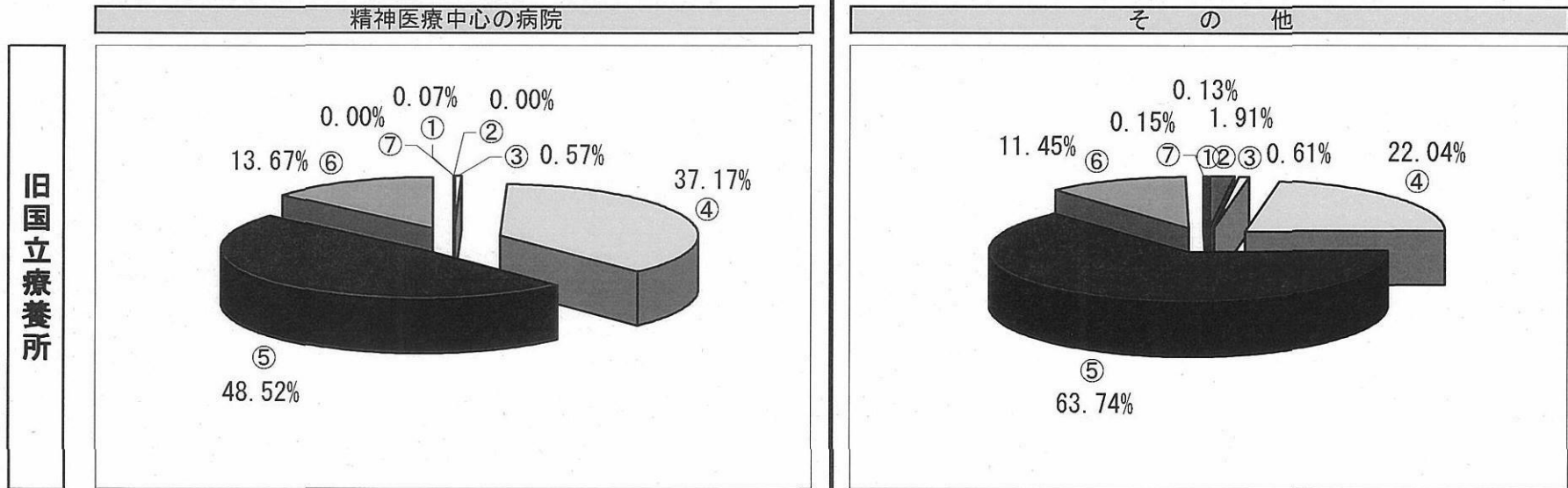
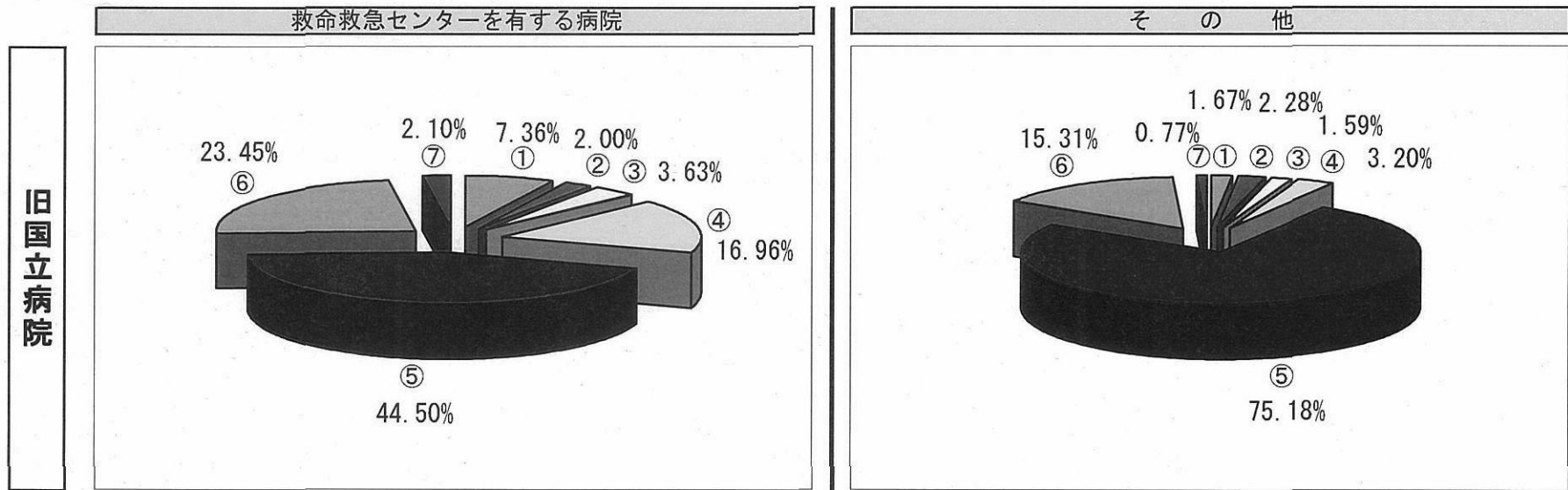
- ①平成18年度末貸倒処理額 約▲ 890百万円【医業未収金 ▲29百万円、破産更生債権等 ▲861百万円】
- ②平成19年度医業未収金発生額 約+ 528百万円
- ③平成18年8月から19年7月までの発生・回収額 約▲ 53百万円

平成19年7月末 未収金債権額 約4,103百万円

1 病院当たり未収金債権額（平成19年7月末現在）



新規発生分（平成19年4月～7月）の発生理由について



- ① 保険未加入によるもの【外国人以外}
- ② 保険未加入によるもの【外国人}
- ③ 診療上等のトラブルによるもの
- ④ 生活困窮によるもの【経済状況確認}
- ⑤ 生活困窮によるもの【その他}
- ⑥ 数度の督促を行なうも支払いのないもの
- ⑦ 居所不明によるもの